

超音波検査士養成研修プログラム

県立こども病院 エコーセンター

医療技術部 臨床検査科

1 目的

社団法人日本超音波医学会認定資格 超音波検査士を取得するために必要な知識と技術を習得するための研修及び超音波検査技術の向上を図る。

2 研修概要

- 研修希望者は超音波医学会又は超音波検査医学会へ入会すること。
(超音波検査士受験資格は受験要項を確認のこと)
- 社団法人日本超音波医学会「超音波検査士研修ガイドライン」に従い研修を進める。
- 各ステップ終了時に到達度を評価すること。
- 研修期間中は日本超音波医学会・日本超音波検査学会主催の講習会に参加すること。
- 指導は主に超音波検査士が超音波専門医の指導のもと行うこと。
- 研修者は定期的に超音波専門医の指導を受けること。
- 研修期間は基本研修 1～2 年、受験準備研修 2 年の計 3～4 年とし期間は到達度により適宜調整し、応用研修や小児専門研修は希望により調整すること。

3. 研修方法

1) 研修を院内で行う場合

エコーセンターにおいてプログラムの内容を習得する

2) 院外から要請を受けて行う場合

定期的に超音波検査士が研修希望者施設を訪問し指導を行う。

研修希望者は数か月おきにこども病院エコーセンターにて研修を受ける。

4. 研修内容

1. 実技の習得

2. 知識の習得

超音波基礎・専門領域に関して毎回テーマを設けて習得を目指す。

3. レポート作成

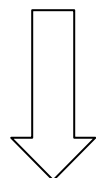
レポート作成を行うことで、検査に必要な計測や疾患に応じた検査ポイ

ントを理解する。レポートは定期的に検査士、専門医がチェックする。

5. 研修スケジュール

【基本研修】 1～2年

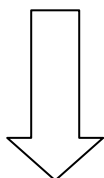
STEP 1 基本断面を出せるようになる



2か月

到達度評価

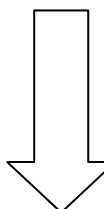
STEP 2 スクリーニング検査を行えるようになる



3か月

到達度評価

STEP 3 目的・疾患にあった検査を行えるようになる
(様々な疾患を経験する)



6か月～

到達度評価

各々選択コースに応じたチェックリストを用い研修を行う。

STEP 3から基礎領域・専門領域に関して毎回テーマを設け知識を確認していく。

【受験準備研修】 2年

1年目 受験にむけた症例の収集と知識の向上

① 症例収集・レポート作成

日常業務を行ない、必要症例を集める。

自施設で収集が困難な症例は他施設の協力を得て症例収集をする。

② 講習会への参加

日本超音波医学会・日本超音波医学会主催の講習会に参加し知識の向上をはかる。

2年目 受験申込及び受験対策

参考に例年の状況を記す

超音波検査士受験申込期間 6月1日～9月14日前後

書類提出期間 8月1日～9月21日前後

受験申込および書類提出

6月中 受験申込

提出予定症例レポート 20例を作成する。

検査士・専門医がレポート内容のチェックを行う。

7月中 レポート内容の見直し・再作成

8月 提出症例 20例レポート、推薦状を持参し、専門医の指導を受ける。

書類提出

受験対策および受験

9月～ 過去問題集を用いて知識確認を行う

受験対策のセミナー参加

2月 超音波検査士試験受験